

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年8月14日 (2014.8.14)

【公開番号】特開2014-94214(P2014-94214A)

【公開日】平成26年5月22日 (2014.5.22)

【年通号数】公開・登録公報2014-027

【出願番号】特願2012-248204(P2012-248204)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

【F I】

A 4 1 B 13/02 A

A 4 1 B 13/02 T

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月26日 (2014.6.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

吸収体、該吸収体の内面側に配された肌側シート及び該吸収体の外面側に配された非肌側シートを含む吸収性本体と、該吸収性本体の一方又は両方の側部に取り付けられた伸縮性のサイドパネルを備えた使い捨ておむつであって、

前記サイドパネルは、先端部にファスニングテープが設けられており、第 1 及び第 2 の 2 枚のパネルシート及び 2 枚の該パネルシート間に伸長した状態で固定された弾性部材を有しており、

前記弾性部材は、前記吸収性本体側の端部若しくはその近傍において、及び前記サイドパネルの先端部側の端部又はその近傍において、第 1 及び第 2 のパネルシートの双方に固定されており、

(a) 第 1 及び第 2 のパネルシートのうち、少なくとも第 1 パネルシートは、前記吸収性本体側の端部が、前記サイドパネルの内側に折り返された本体側積層構造部分を有しており、

前記本体側積層構造部分においては、折り返しによって対向している第 1 パネルシート間に接着剤が施されて本体側層間接着剤層が形成されており、

前記本体側層間接着剤層が、前記本体側積層構造部分を越えて、前記サイドパネルの幅方向中央側に向けて延出した本体側延出接着剤層を有しており、

前記弾性部材は、前記本体側延出接着剤層と、第 2 パネルシート側に位置し、かつ前記吸収性本体側の端部又はその近傍を固定している本体側接着剤層とによって、第 1 及び第 2 のパネルシートの双方に固定されているか、又は

(b) 第 1 及び第 2 のパネルシートのうち、少なくとも第 1 パネルシートは、前記サイドパネルの先端部側の端部が、前記サイドパネルの内側に折り返された先端側積層構造部分を有しており、

前記先端側積層構造部分においては、折り返しによって対向している第 1 パネルシート間に接着剤が施されて先端側層間接着剤層が形成されており、

前記先端側層間接着剤層が、前記先端側積層構造部分を越えて、前記サイドパネルの幅方向中央側に向けて延出した先端側延出接着剤層を有しており、

前記弾性部材は、前記先端側延出接着剤層と、第２パネルシート側に位置し、かつ前記サイドパネルの先端部側の端部又はその近傍を固定している先端側接着剤層とによって、第１及び第２のパネルシートの双方に固定されている、使い捨ておむつ。

【請求項２】

前記本体側延出接着剤層及び本体側接着剤層は、前記サイドパネルの幅方向中央側の端部の位置が一致している請求項１に記載の使い捨ておむつ。

【請求項３】

前記先端側延出接着剤層及び前記先端側接着剤層は、前記サイドパネルの幅方向中央側の端部の位置が一致している請求項１に記載の使い捨ておむつ。

【請求項４】

第１パネルシートは、前記吸収性本体側の端部が内側に折り返された本体側積層構造部分、及び前記サイドパネルの先端部側の端部が内側に折り返された先端側積層構造部分を有しており、

前記層間接着剤層が、前記本体側積層構造部分を越えて、前記サイドパネルの幅方向中央側に向けて延出した本体側延出接着剤層を有しているとともに、前記層間接着剤層が、前記先端側積層構造部分を越えて、前記サイドパネルの幅方向中央側に向けて延出した先端側延出接着剤層を有しており、

前記弾性部材は、前記本体側延出接着剤層と、第２パネルシート側に位置する前記本体側接着剤層とによって、第１及び第２のパネルシートの双方に固定されているとともに、前記先端側延出接着剤層と、第２パネルシート側に位置する前記先端側接着剤層とによって、第１及び第２のパネルシートの双方に固定されている請求項１ないし３のいずれか一項に記載の使い捨ておむつ。

【請求項５】

第１及び第２のパネルシートのうち、第１パネルシートが外面側に配されている請求項１ないし４のいずれか一項に記載の使い捨ておむつ。

【請求項６】

一对の帯状シートを搬送する工程と、該帯状シートの間に、該帯状シートの搬送方向と交差する方向に糸状弾性体を配置し、該帯状シートの搬送方向に沿う該帯状シートの一側部及び他側部それぞれにおいて、糸状弾性体を伸長状態で一对の該帯状シートの双方に固定する工程を備えた伸縮性シートの製造方法であって、

一对の前記帯状シートのうちの一方の帯状シートについて、該帯状シートの搬送方向に沿う該帯状シートの一側部及び他側部のうちの少なくとも一方に、該搬送方向に沿って接着剤を塗工し、

前記接着剤が塗工された側部を、該接着剤が内側となるように折り返して積層構造部分を形成し、

他方の前記帯状シートと、前記積層構造部分を有する一方の前記帯状シートとの間に、これらの帯状シートの搬送方向と交差する方向に前記糸状弾性体を伸長状態で固定する工程を備え、

前記積層構造部分の形成時に、前記接着剤の一部が露出するように一方の前記帯状シートを折り返し、折り返し後に露出している該接着剤によって前記糸状弾性体を固定する、伸縮性シートの製造方法。

【請求項７】

一对の前記帯状シートのうちの他方の帯状シートに、接着剤を塗工する工程を備える、請求項６記載の伸縮性シートの製造方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００３３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 3 】

第 1 パネルシート 3 1 の先端側積層構造部分 3 1 B においては、先端側層間接着剤層 3 1 b が、先端側積層構造部分 3 1 B を越えて、サイドパネル 3 の幅方向 X の中央側に向けて延出している。この延出によって、先端側延出接着剤層 3 1 b ' が形成されている。先端側延出接着剤層 3 1 b ' は第 1 パネルシート 3 1 によって被覆されておらず、該先端側延出接着剤層 3 1 b ' はサイドパネル 3 の内面 P 側に向けて露出している。そして、露出している先端側延出接着剤層 3 1 b ' は、個々の弾性部材 3 3 の、サイドパネル 3 の先端部側の端部又はその近傍を、サイドパネル 3 の外面 Q 側から内面 P 側に向けて固定している。

【 手続補正 3 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 1 】

本実施形態のおむつ 1 におけるサイドパネル 3 は、図 4 に示すとおり、先端側層間接着剤層 3 1 b を有する先端側積層構造部分 3 1 B を有しており、その先端側積層構造部分を 3 1 B によって補強された先端部 3 a が、接続用接着剤層 6 5 によってファスニングテープ 4 と接合されている。ファスニングテープ 4 は、テープ基材 4 2 と、該テープ基材 4 2 に接合されて止着部 4 1 を形成する機械的面ファスナーのオス部材とからなる。そして、ファスニングテープ 4 における、テープ基材 4 2 のみからなる部分が、サイドパネル 3 の先端部 3 a に重ねて接合されている。本実施形態においては、サイドパネル 3 の先端部 3 a とテープ基材 4 2 との間は、接続用接着剤層 6 5 を介して接合されている。機械的面ファスナーのオス部材をテープ基材 4 2 に固定する方法としては、熱融着や接着剤による接着等の任意の接合方法が用いられる。なお、おむつ 1 の腹側部 A の外面には、ファスニングテープ 4 の止着部 4 1 を止着させるランディングゾーン 5 (図 2 参照) が設けられている。

【 手続補正 4 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 6 8 】

< 2 4 > 前記第 1 及び第 2 のパネルシートのうち、前記第 1 パネルシートが内面側に配されている、前記 < 1 > ~ < 2 3 > のいずれか 1 に記載の使い捨ておむつ。

< 2 5 > 前記第 1 及び第 2 のパネルシートの双方に積層構造部分及び延出接着剤層を形成する、前記 < 1 > ~ < 2 3 > のいずれか 1 に記載の使い捨ておむつ。

< 2 6 > 前記吸収性本体は、着用時に着用者の腹側に位置する腹側部、着用者の背側に位置する背側部、及び股間部に位置する股下部を有し、サイドパネルは、背側部における吸収性本体の両側部に、それぞれ吸収性本体の両側縁部から外方に突出するように取り付けられている、前記 < 1 > ~ < 2 5 > のいずれか 1 に記載の使い捨ておむつ。

< 2 7 > 前記非肌側シートは、液不透過性又は液難透過性 (撥水性を含む) の防漏シートと、該防漏シートの外面側に外層接着剤層を介して接合された外層不織布とを有する複合シートからなる、前記 < 1 > ~ < 2 6 > のいずれか 1 に記載の使い捨ておむつ。

< 2 8 > 前記弾性部材は糸状のものであり、それぞれ、おむつの幅方向 (X 方向) に沿って複数本配されており、おむつの長手方向 (Y 方向) に略等しい間隔を設けて配されている、前記 < 1 > ~ < 2 7 > のいずれか 1 に記載の使い捨ておむつ。

< 2 9 > 前記サイドパネルに配する弾性部材は、複数本であって、4 本以上であるか、

6 本以上であり、30 本以下であるか、20 本以下であり、また、4 本以上30 本以下であるか、6 本以上20 本以下である、前記< 1 > ~ < 28 > のいずれか 1 に記載の使い捨ておむつ。

< 30 > 前記サイドパネルを構成するパネルシートして、不織布、織物、フィルム又はこれらの積層シートを用いる、前記< 1 > ~ < 29 > のいずれか 1 に記載の使い捨ておむつ。